一関工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	歴史学

科目基礎情報

科目番号	0003	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	一般科目	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	プリント、『岩波テキストブックスa歴史学入門』（岩波書店）		
担当教員	松浦 千春		

到達目標

①歴史学の学的視点と方法論とを学習する。
②史料・資料からどのように「歴史」が導かれるのかを学び、中国史の諸相を具体的な資料から考える。
【教育目標 】 B
【学習・教育到達目標 】（B-1），（B-2）
【キーワド 】歴史学、資料論、時代区分、仏教、文芸資料

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	歴史学の学的視点と方法論とを中国史の具体像を通して学習する。「歴史」が史料・資料からどのように考察されるのかを理解し、また中国魏晋南北朝隋唐の歴史的な具体像を資料から考えることを学ぶ。
授業の進め方・方法	講義は主にプリントによって行う。教科書は実質的にはサブテクストであり、予習として関連する部分を読了しておくことが望まれる。また自習レポートとして教科書概要の提出を求める。
注意点	歴史学の方法論を踏まえた考察と、その具体的な成果としての中国史の理解の程度を評価する。 【事前学習 】 プリントの資料を前もって読んでおくこと。またテキストを指示に従って熟読、場合によっては要約した上で講義に臨む必要がある。 【評価方法・基準 】 試験結果（100%）で評価する。詳細は第１回目の授業で告知する。自学自習による自己学習レポートを提出すること。自己学習レポートの未提出が，４分の１を越える場合は評価を60点未満とする。総合成績６０点以上を単位修得とする。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	はじめに　授業の構成と学び方	授業の概要と学習方法が理解できる
		2週	史書と史料・資料　中国史における正史・史書・史料・資料	中国の歴代正史について理解できる
		3週	史書と史料・資料　中国史における正史・史書・史料・資料	中国の歴代正史について理解できる
		4週	時代区分と歴史　歴史学と時代区分と中国史	時代区分の意味について理解できる
		5週	時代区分と歴史　歴史学と時代区分と中国史	時代区分の意味について理解できる
		6週	時代区分と歴史　歴史学と時代区分と中国史	時代区分の意味について理解できる
		7週	東アジア世界の形成	冊封体制による国際関係を理解できる
		8週	東アジア世界の形成	冊封体制による国際関係を理解できる
	2ndQ	9週	仏教文化の国際性と地域性　仏教と中国の社会と国家	仏教のグローバルな働きと地域的な特性について認識し、中国仏教を考えることができる
		10週	仏教文化の国際性と地域性　仏教と中国の社会と国家	仏教のグローバルな働きと地域的な特性について認識し、中国仏教を考えることができる
		11週	仏教文化の国際性と地域性　仏教と中国の社会と国家	仏教のグローバルな働きと地域的な特性について認識し、中国仏教を考えることができる
		12週	社会・文化史料の可能性　唐詩と唐代社会	唐詩の中の記述を分析し、歴史事象との関連において考察することができる
		13週	社会・文化史料の可能性　唐詩と唐代社会	唐詩の中の記述を分析し、歴史事象との関連において考察することができる
		14週	社会・文化史料の可能性　唐詩と唐代社会	唐詩の中の記述を分析し、歴史事象との関連において考察することができる
		15週	期末試験	
		16週	試験の確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0